



Hyqua 130

ハイクア130

取扱説明書



 **SEEMS**

本製品を安全に運用するために、この取扱説明書をよく読み理解するまでは、操作およびメンテナンス作業を行わないでください。本取扱説明書はいつでも必要な時に取り出せるよう所定の場所に保管してください。

はじめに

このたびは除菌電解水給水器Hyqua 130をお買い上げいただき、ありがとうございます。

お買い上げいただきました本製品の性能を十分発揮していただくために、この説明書をよく読み、使用方法、保守管理等を十分ご理解・把握の上効率よく安全にご使用ください。

本説明書について

この取扱説明書（以降、本書）は、末永く本製品の能力を最大限発揮させ、かつ、使用者の健康と安全を確保することを目的として作成しています。

本製品を使用される前、また設置される前に必ずお読みいただき、いつでも見られるように保管してくださいようお願いいたします。

本書におけるすべての著作権は、株式会社SEEMS（以降、弊社）に帰属します。本書の内容の一部または全部を無断転載することは著作権法上での例外を除き、禁じられています。

本書の内容は予告なしに変更することがあります。あらかじめご了承ください。

本書の記載には万全を期しておりますが、万一誤りなどがございましたら、弊社までご連絡ください。

本書は日本語を母国語とした人を対象としています。日本語を母国語としない人に本製品に関する作業を行わせる場合は、お客様の責任で作業者に安全教育と取り扱い指導を徹底してください。

本書中の表記について

本製品は、運用者の安全を第一に考え、設計されています。しかしながら、製品の性質上、どうしても取り除くことができないリスクが存在します。本書および本製品上では、それらのリスクの重大性および危険性のレベルを、「危険」、「警告」および「注意」事項の3段階に分けてシグナルワードとして表示しています。

シンボル記号

本書では、以下の絵表示を使用しています。

	禁止事項 ・ 行ってはいけない事項を示します。
	強制事項 ・ 必ず行っていただく必要のある事項を示します。

シグナルワード

 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷 ^{※1} を負う可能性が高い内容について記述しています。
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷 ^{※1} を負う可能性がある内容について記述しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽傷 ^{※2} を負う可能性がある内容について記述しています。

※1：重傷とは、失明、けが、やけど、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するもの。

※2：治療に入院や長期の通院が必要ないもの。（上記「重傷」以外）。

また、シグナルワードの他に物損のみに関連する事項は「注記」として表示します。

注 記	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、本製品、設備、機器などに損害や故障を引き起こす可能性がある内容について記述しています。
------------	--

補足事項

本書では、下記の補足表記も使用しています。

メモ	運用上特に知っておかなければならない情報や内容がある場合に記述します。
-----------	-------------------------------------

名称などの表記

本書では、本製品上のボタンやスイッチ類、画面上の表示部や操作部の表記を以下のようにルール表記しています。

表記	用途	例
[] 角ブラケット	・ 製品上のボタンやスイッチ類 ・ 画面名 ・ ウィンドウ名	・ [X X X] ボタン ・ [X X X] 画面 ・ [X X X] ウィンドウ
「 」 かぎ括弧	・ 入力値、表示値 ・ 特定の単語、部品名など	・ 「0」に戻ります。 ・ 「X X X」と表記します。
『 』 二重かぎ括弧	・ 参照先	・ 『1.2.3 X X X』参照
※	・ 補足説明	・ ※1：X X Xとは…

図、イラストについて

本書に掲載している図やイラストは参考イメージです。実際の製品と異なる場合がありますので、ご了承ください。

取扱説明書対象者の定義

本書は、本製品に関与されるすべての方を対象に作成しておりますが、安全上、記述内容ごとに能力や経験に応じ、以下に示す作業者の定義付けを行っています。

お客様 (管理責任者)	本製品および周辺装置（オプション品）の運用、衛生管理の責任者 ・ 本製品の正常な操作による安全な運用状態の管理が行え、異常状態の発見と速やかな販売店への連絡が行える方を指します。
メーカー (弊社)	電解槽、主要部品の取り扱いに関する人員 ・ 電解槽、主要部品(電磁弁、主要配管、基板等)の取り付けおよび交換をともなう保守点検作業は、弊社作業員が行います。
販売店	本製品の設置・保守・点検を行う人員 ・ 本製品の設置・保守についての指導を受け、熟知されている方を指します。保守担当者は本製品の分解・組み立ての知識および注意事項を熟知していることを条件とします。

適合規格

PSE適合：電気用品安全法

保証と責任の範囲

保証期間

本製品には、1年間の保証期間を設けています。保証書に、記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項を記入されていることを確認してください。

機械の調子が悪い場合は、まず本書の『7 トラブルシューティング』をご確認ください。

それでも解決しない場合は、お買い上げいただきました販売店までご連絡ください。保証期間中であれば、無償で修理致します。

保証期間を過ぎた場合や保証規定外の場合には、有償にて修理致します。

保証規定

- ・ 正常な使用状態（取扱説明書、本製品貼り付けラベル等の注意書に従った使用状態）で保証期間内に故障した場合には、下記範囲内にて無償修理を致します。
- ・ 保証範囲：本製品主要部の部品、修理費用
- ・ 保証の範囲外：磨耗による消耗部品の交換
- ・ 無償修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- ・ 設置場所の変更があった場合、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証責務の除外

保証期間中でも次の場合には原則として有償とさせていただきます。

- ・ 取扱説明書に記載されている注意事項をお守りいただけなかった場合
- ・ 使用上の誤り、不当な修理や改造による故障および損傷の場合
- ・ お買い上げ後、運送中の落下等による故障および損傷の場合
- ・ 故意または人為的要因による故障および損傷の場合
- ・ 火災・地震・風水害・落雷・その他の天変地変・異常電圧・指定外の使用電源等による故障、損傷の場合
- ・ 保証書のご呈示がない場合
- ・ 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ頂いた販売店名の記入がない場合、あるいは保証書の字句を書き換えられた場合

保証書について

- ・ 保証書は日本国内においてのみ有効です。
- ・ 保証書は再発行致しませんので、大切に保管してください。
- ・ 保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無償修理をお約束するものです。従って、保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等につきましては、お買い上げいただきました販売店、または弊社にお問い合わせください。

오류! 여기에 표시할 텍스트에 見出し 1을(를) 적용하려면 홈 탭을 사용하세요. 오류! 여기에 표시할 텍스트에 見出し 2을(를) 적용하려면 홈 탭을 사용하세요. 오류! 여기에 표시할 텍스트에 見出し 2을(를) 적용하려면 홈 탭을 사용하세요.

目 次

はじめに.....	i
本説明書について	i
本書中の表記について.....	i
取扱説明書対象者の定義.....	iii
適合規格.....	iii
保証と責任の範囲	iv
1 運用上の注意事項	1
1.1 使用および保全のための必要空間.....	1
1.2 安全にご使用いただくために.....	2
1.2.1 設置について	2
1.2.2 使用について	5
1.2.3 日頃の管理やメンテナンスについて	6
2 製品概要.....	7
2.1 仕様（機器諸元）	8
2.2 各部の名称とはたらき	9
2.2.1製品正面	9
2.2.2 製品右側面	11
2.2.3 製品左側面	12
2.2.4 製品背面	13
2.3 付属品.....	14
2.4 オプション品.....	16
3 設置	17
3.1 設置の前に	17
3.1.1 設置の流れ	17
3.1.2 設置場所の環境・注意事項.....	17
3.2 設置の前の確認 1	18
3.3 設置方法	19
3.4 取水ノズルの取り付け	20
3.5 給水ホースの連結	20
3.6 壁面に取り付け.....	21
3.7 水栓に接続する.....	23
3.8 電解補助液を入れる	24

오류! 여기에 표시할 텍스트에 見出し 1을(를) 적용하려면 홈 탭을 사용하세요. 오류! 여기에 표시할 텍스트에 見出し 2을(를) 적용하려면 홈 탭을 사용하세요. 오류! 여기에 표시할 텍스트에 見出し 2을(를) 적용하려면 홈 탭을 사용하세요.

4	使用方法（電解水生成の準備）	26
4.1	電解水生成の準備	26
4.2	設定方法	27
4.2.1	生成量の設定（1～200 L、初期設定1L）	27
4.2.2	生成濃度レベルの設定（Lv1～Lv4、初期設定L1）	28
4.2.3	ハンドセンサーの生成時間の設定（生成時間20秒～120秒、初期設定30秒）	28
4.2.4	チャイルドロックの設定	29
4.3	生成の方法	29
4.3.1	開始/停止ボタンによる生成	29
4.3.2	ハンドセンサーによる生成.....	30
5	メンテナンス	31
5.1	日常のメンテナンス.....	31
5.2	消耗品	33
5.3	定期メンテナンス(原則：2年に1回)	34
5.4	定期交換部品	34
6	トラブルシューティング	35
6.1	こんなときは	35
6.1.1	取水ノズルからの水垂れ対処方法	36
6.1.2	所定量の通水手順	37
6.1.3	通水の短時間繰り返し手順.....	37
6.2	エラー表示一覧	38
7	製品の保管および廃棄	41
7.1	本製品の使用を長期間停止する場合.....	41
7.2	本製品を廃棄する場合	42
7.2.1	本体の廃棄.....	42
7.2.2	梱包材等の廃棄	42

1 運用上の注意事項

本章では、お客様が本製品を取り扱う上で特に注意しなければならない安全に関する内容を記載しています。

本製品を使用する人ばかりでなく、製品のメンテナンスや製品付近で作業を行うすべての人が本書の安全に関する記述をよく読み理解しておいてください。

警告



本製品の使用者は、使用に先立って販売店からの使用方法説明を受けてください。また本製品の取扱説明書をよく読み、本製品の安全な運用につとめてください。

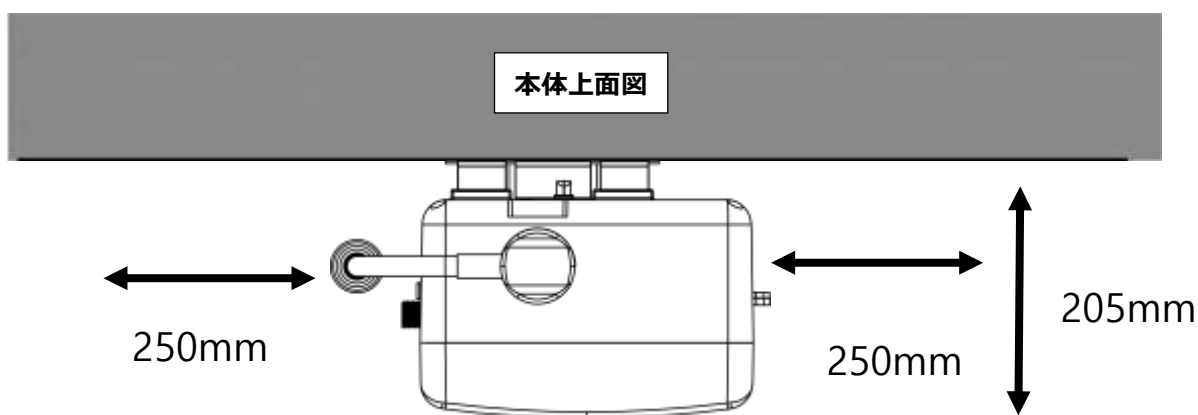
1.1 使用および保全のための必要空間

本製品周辺の使用および保全のための必要空間は、下図に示す寸法以上の距離を空けてください。

注 記



- ・ 本製品を設置する際は、下図を参考に保守作業を実施する為のスペースを確保してください。
- ・ 電源スイッチのON/OFF、電解補助液扉（添加液扉）の開閉、給水口の点検・清掃を行うのに必要です。
- ・ 同梱品の壁掛けキットを使用し設置する場合は必ず下図の数値以上のスペースを確保してください。



1.2 安全にご使用いただくために

ここに示した事項は、ご使用になる人や他の人への危害、財産への損害を防止するための内容を記載していますので、必ずお守りください。

1.2.1 設置について

・電気部品について

危 険



- ・ 本製品の分解、改造は絶対に行わないでください。感電、やけど、重量パーツが外れ、けがを負う可能性があります。
- ・ 電解槽、電気制御盤には高電流が流れていますので、決して触れないでください。感電の原因となります。
- ・ 本製品は絶対に分解・改造は行わないでください。異常作動や漏電により感電、発火の原因となります。
- ・ 濡れた手で本体のスイッチ、配線等に触れないでください。感電の原因となります。

・換気設備について

警 告



- ・ 本製品は屋内に設置し、必ず換気設備を設け、換気しながら使用してください。電解水には低濃度の塩素が含まれています。塩素ガスが蓄積し危険な状態になる原因となります。
- ・ 万が一、塩素ガスを吸い込んだ場合や電解水をご使用になった際、身体に発疹など異常が見受けられた際は速やかに医師の診断を受けてください。

・コンセントについて

警 告



コンセントはたこ足配線せず、単独で使用してください。コンセントの発熱などにより火災の原因となります。また電圧が低下し誤作動や故障の原因となります。

注 記



電源は、単相100Vのコンセントをご使用ください

・電源コードについて

⚠ 警 告	
	・コンセントに電源コードのプラグを抜き挿しする場合、濡れた手で行わないでください。感電の原因となります。 ・電源コードを踏みつけたり、変形させたりしないでください。火災や感電の原因となります。
	 プラグにホコリが付いていたら拭き取ってください。またプラグはコンセントに根本まで差し込んでください。火災の原因となります。

・設置場所について

注 記	
	・周囲温度が5℃以下また35℃以上になるような場所に設置しないでください。 ・本体に直射日光が当たるような場所に設置しないでください。
	 ・揮発性、引火性のある物、また粉状の物、ホコリ、油煙等が発生する場所、結露する場所の近くに設置しないでください。火災の原因となります。 ・腐食性ガスが発生する場所に設置しないでください。電気部品等が腐食し不具合の原因となります。 ・本製品の周囲250mmに物がないようにしてください。機械内部の放熱ができず故障、火災の原因となります。 ・排水は、下水または浄化槽へ排水されるよう設置してください。

・設置場所や設置作業について

⚠ 注 意	
	給水ホースを潰したり、変形させたりしないでください。漏水の原因となります。
	 ・販売店もしくは弊社と事前に設置位置などの打ち合わせを行い、お客様と同意の上で設置してください。思わぬ事故の原因となります。 ・本製品は水を扱うため、万が一漏水が起きた場合でも支障がない場所に設置してください。 ・壁掛けキット等で確実に固定してください。地震等による転倒、落下により本製品の破損やけがの原因になります。 ・本製品を移動させる際水平を保ち、傾けたり、倒したりしないようにしてください。漏水の原因となります。

注 記



- ・ 雨水配管への配管接続はしないでください。雨水配管先が下水道に接続されている場合、下水道法の適用を受けます。
- ・ 河川・湖沼・側溝等に直接排水しないでください。
- ・ 本製品は日本国内仕様です。海外では使用できません。
- ・ 本製品の止水は給水口での元止め方式です。生成中はシャワーホースの出口を塞いだり、折り曲げたり、引っ張ったりしないでください。水漏れや故障の原因になります。



PVC材等の耐腐食性材質のもので配管してください。配管が金属の場合、腐食します。

・ 使用する水について

注 記



- ・ 水道法水質基準に適合した硬度80mg/L以下の水道水にしてください。
- ・ 水圧は0.2MPa～0.5MPaの水圧を確保してください。
- ・ 使用する給水管にて水撃が予想される場合は水撃防止装置を取り付けてください。
- ・ 5℃以下や35℃以上での給水は絶対に使用しないでください。

1.2.2 使用について

・本製品について

警 告



- ・ サービスエンジニア以外の方は修理、分解をしないでください。感電や思わぬ事故の原因となります。
- ・ 製品に無理な衝撃を加えないでください。
- ・ 本製品、電源コードに水をかけないでください。感電・故障の原因となります。

注 意



本製品は医療用に開発されたものではありません。医療行為に使用しないでください。

注 記



- ・ 本製品の上に物を置かないでください。振動での落下や、本製品の変形等の原因になります。
- ・ 濡れた手で表示操作パネルやボタンを操作しないでください。故障の原因になります。



電解水生成の前に水栓(蛇口)を開いて水漏れがないことを確認してください。水栓のネジやワンタッチ継手の緩みや錆の発生により水漏れの原因となります。なお、使用しないときは水栓を閉めてください。

・電解水について

警 告



本製品から生成される電解水は飲用ではありませんので、決して飲用しないでください。

注 意



本製品から生成される電解水は他の薬剤と混合して使用しないでください。



- ・ 電解水を長時間使用する際は、ゴム手袋などを着用してください。稀ではありますが「かゆみ・赤浮腫」などが見られる場合があります。皮膚などの弱い方は、希釈した電解水でお確かめになった上でご使用ください。
- ・ 電解水をご使用になった際、身体に発疹など異常が見受けられた際は、速やかに医師の診断を受けてください。

1.2.3 日頃の管理やメンテナンスについて

注 記

- ・ 本製品の上に物を置かないでください。振動での落下や、本製品の変形等の原因になります。
 - ・ 濡れた手でボタンを操作しないでください。故障の原因になります。
 -  ・ 本体など電装部に水をかけないでください。漏電の可能性があります。
 - ・ 本製品を安全に運用するために管理責任者を設置してください。
 - ・ 管理責任者は使用方法をよく理解し、安全な運用を行ってください。管理責任者以外の方が設定変更等を行わないようにしてください。
-
-  ・ 異常停止した場合は直ちに使用を止め、管理責任者の方は速やかに販売店もしくは弊社までご連絡ください。
 - ・ 本製品を2~3日以上使用しない場合は、給水の水栓を閉めてください。

・ 電解水の使用について

注 記

-  本製品から生成される電解水は流通・販売しないでください。
-
- ・ 生成水の性質・使用後について生成水には、微量の塩化物が含まれています。長期間のご使用により金属類にサビを発生させ、樹脂製品・ゴム類も劣化させる場合がありますので注意してください。
 -  ・ 食品の原料水として使用しないでください。
 - ・ オーバーフローで使用、流水下で使用、スプレーボトルに入れる等の方法で使用してください。
 - ・ コピー機、パソコンなどの精密機器には直接スプレーしないようにしてください。故障する場合があります。

・電解補助液について

 警告



電解補助液は飲用ではありません。決して飲用しないでください。

 注意

専用の電解補助液以外の液体を添加剤として使用しないでください。有害物質を生成、有毒ガスを発生させて、生命に係わる恐れがあります。

- ・混合禁止。電解補助液は、塩酸を含む酸性の溶液です。他の水溶液(塩素系製剤)とは絶対に混合しないでください。塩素ガスが発生し、生命に係わる恐れがあります。
- ・他の薬剤と混合しないでください。特にアルカリ系洗剤、アルカリ系漂白剤および酸性洗剤との混合は危険です。
- ・電解補助液は水等で希釈せずに使用してください。機械が正常に作動しない恐れがあります。
- ・目に入ると、失明や視力低下をおこすおそれがあり、危険です。
- ・使用期限は未開封状態で製造日から3年です。開封後はできるだけ速やかにご使用ください。
- ・こぼすと周囲の金属類を錆びさせます。こぼした場合には、水で流すか、十分拭き取ってください。
- ・電解補助液を他の容器に小分け又は移し換えて使用しないでください。
- ・ガスの発生がありますので十分な換気の下で取り扱ってください。
- ・床や器具にこぼれた時は、十分に洗い流してください。
- ・直射日光を避けて保管してください。
- ・運搬に当たっては、電解補助液は本体から完全に抜き取ってください。
- ・空容器の廃棄は各自治体の廃棄方法に従って処理してください。
- ・皮膚に付着した時は直ちに付着部あるいは接触部を、多量の水で十分に洗い流してください。
- ・衣類や靴に付着した時は汚染された衣類や靴を速やかに脱いで多量の水で洗い流してください。
- ・以下の状況となった場合、応急処置を施した後速やかに医師の手当を受けてください。
- ・衣類や靴に付着した時は汚染された衣類や靴を速やかに脱いで多量の水で洗い流してください。
- ・目に入った時は目を擦らないで直ちに流水で洗い流してください。
- ・飲み込んだ場合は無理に吐かせようとせず出来るだけ多量の水を飲ませるか、牛乳や生卵を飲ませてください。
- ・ガスを吸入した場合、新鮮な空気の場合に移動し、酸素吸入を行ってください。

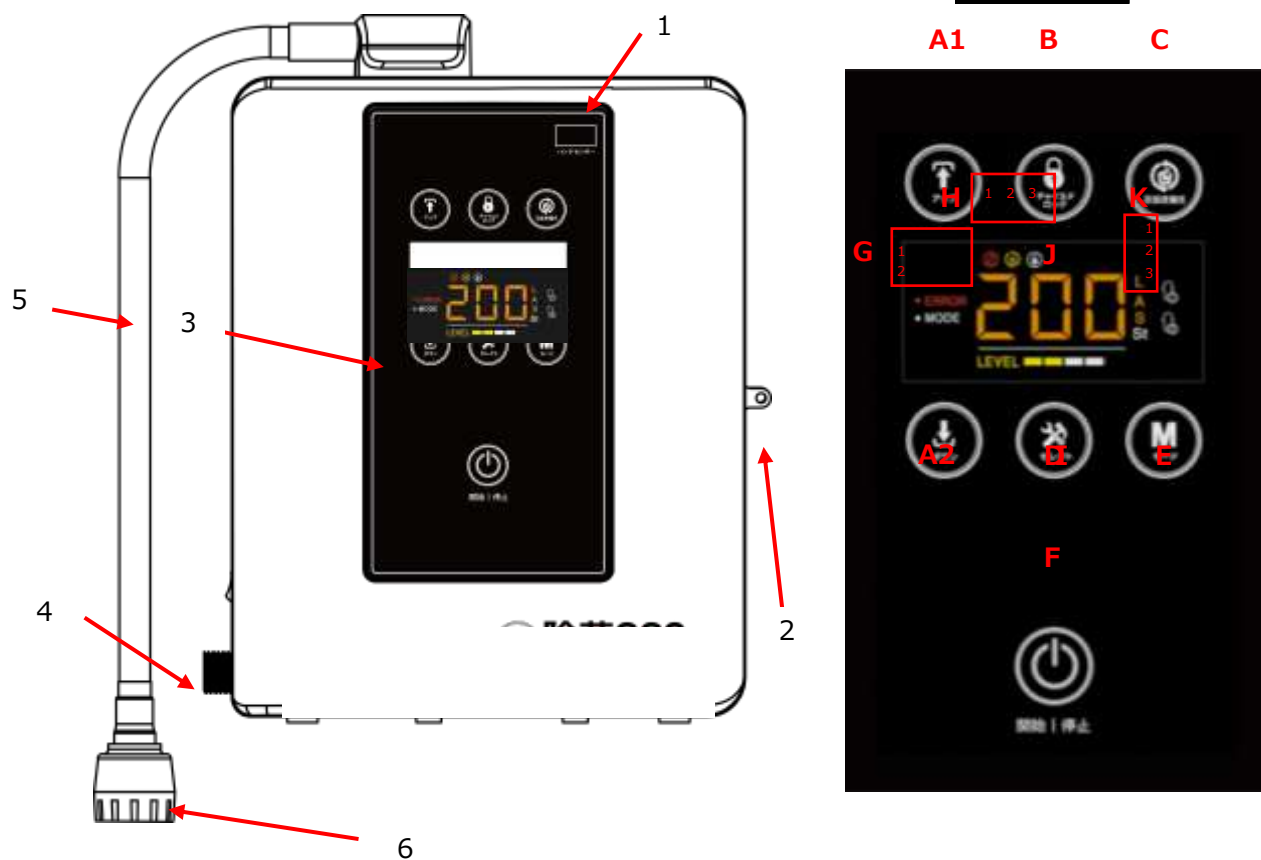
2.1 仕様（機器諸元）

本製品は、水道水を使用し次亜塩素酸水（酸性電解水）を生成する電解水装置です。

項目	製品本体仕様	
品名	Hyqua 130	
型式	SHW-130W	
電源	AC100V 50/60Hz	
定格消費電力	120W	
外形寸法	W265(293)×D174(205)×330(365)mm ※（）内は突起部を含んだ最大寸法です。	
生成時電解水特性	酸性電解水	
生成時電解水特性 生成能力	pH	pH約5.0～6.5 ※原水の水質・水温・設置環境・設定条件等により、上記範囲外になる場合があります。
	有効塩素濃度	約20～40mg/kg
	生成量	3.0L/min (最大3.5L/min) ※水道水の水圧・水量や周辺環境等によっては、上記生成量が出ない場合があります。
製品質量	乾燥重量	約4.0kg
定格水圧	0.2MPa～0.5MPa ※給水圧が上記範囲を超える場合は、メーカーにご相談ください。	
給水	水道法水質基準に適合した硬度80mg/L以下の水道水	
使用温度範囲	周囲温度：5～30℃	
設置場所	・屋内仕様（壁掛け可、要排気設備、凍結・結露しない場所であること） ・硬度等、詳細な現場確認事項があります。 ・酸性電解水の水質・取水量等は、水道水の水質や周辺環境等により変化します。 ・排水は排水先を、下水もしくは浄化槽に排水されるように設置してください。 ・本製品から取水し使用した電解水は、設置・使用状況によっては中和処理が必要な場合があります。 ・腐食性ガスが発生する場所に設置しないでください。電気部分等が腐食し不具合の原因となります。 ・揮発性、引火性のある物、粉状の物、ホコリ、油煙等が発生する場所、結露する場所の近くに設置しないでください。火災の原因となります。 ・暗所や直射日光の当たらない場所に設置してください。	

2.2 各部の名称とはたらき

2.2.1 製品正面



No.	名 称	説 明
1	ハンドセンサー	ハンドセンサーに手をかざすことにより、設定秒数の間、電解水生成を運転・途中停止することができます。
2	施錠用鍵穴	電解補助液(添加液)扉の取り外し防止用。 ※錠前は付属していません。
3	ディスプレイ	操作状況を表示します。
4	給水口	給水ホースを接続します。
5	シャワーノズル	本体とシャワーヘッドを接続する専用のノズルです。
6	シャワーヘッド	ストレートとシャワーに切り替え可能。

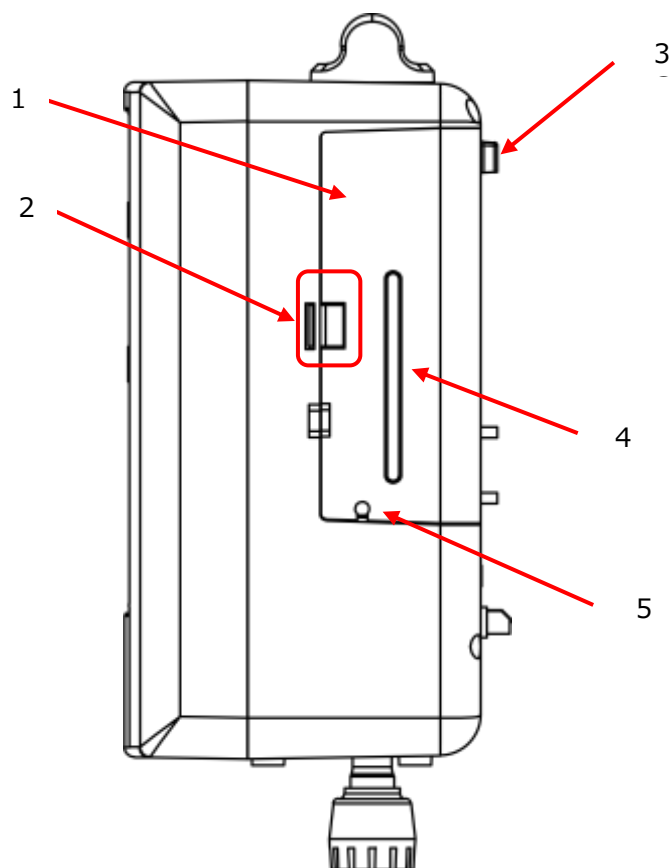
メモ

- ・写真の色は印刷物ですので、実際の色と若干異なる場合があります。
- ・製品の定格およびデザインは改善等のため予告なく変更する場合があります。

操作パネル

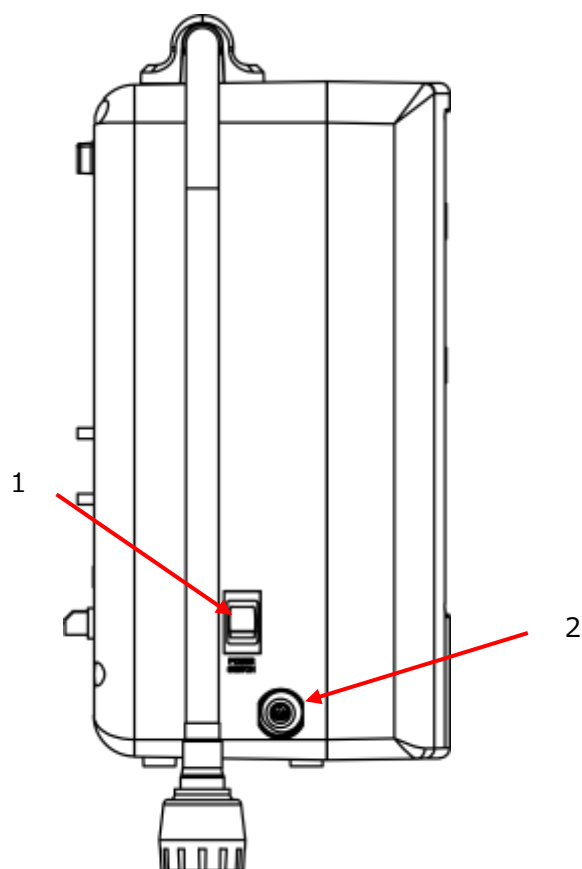
No.	名 称	説 明
A1	↑ボタン	生成量設定、レベル変更などの操作時に使用します。
A2	↓ボタン	生成量設定、レベル変更などの操作時に使用します。
B	チャイルドロックボタン	チャイルドロック設定時に使用します。
C	電解補助液（添加液）補充ボタン	電解補助液（添加液）切れの場合に使用します。
D	セレクトボタン	生成時間の設定、レベル変更などの操作時に使用します。
E	モードボタン	設定時、設定モード変更時に使用します。
F	開始/停止ボタン	設定された生成量の取水時に使用し動作時にはランプが点滅します。生成時にもう一度押すと、生成が途中停止します。
G	状態表示アイコン	1. エラー時に表示されます。 2. MODE使用時に表示されます。
H	アラート表示	1. 給水不良ランプ 動作中、給水されない場合に点滅します。 2. 電解補助液（添加液）補充ランプ 電解補助液（添加液）切れの場合に点滅します。 3. チャイルドロックランプ チャイルドロック設定時に点灯します。 ※チャイルドロック時はハンドセンサーによる生成のみです。
I	レベル表示	生成水濃度のレベルを表示します。 また流量が低下した際は点滅します。
J	表示モニター	生成量や取水時間、エラー番号等を表示します。
K	使用内容表示	1. Lランプ（生成量 リットル or 生成流量 リットル/分） 開始/停止ボタンによる生成時に点灯します。生成量の単位を示します。 ※電解水生成中に『セレクト』ボタンを3秒間長押しすると、電流値/生成流量の確認画面が表示されます。 確認画面は電流値が最初に表示され、『モード』ボタンで生成流量に切り替わります。 『セレクト』ボタンを3秒間長押しすると通常画面に戻ります。 2. Aランプ（アンペア） 補助液補充時、電解水生成時の電流値を表示します。 ※電流値表示方法は、1. Lランプと同じです。 3. Sランプ ハンドセンサーによる生成時に点灯します。生成時間の単位を示します。

2.2.2 製品右側面



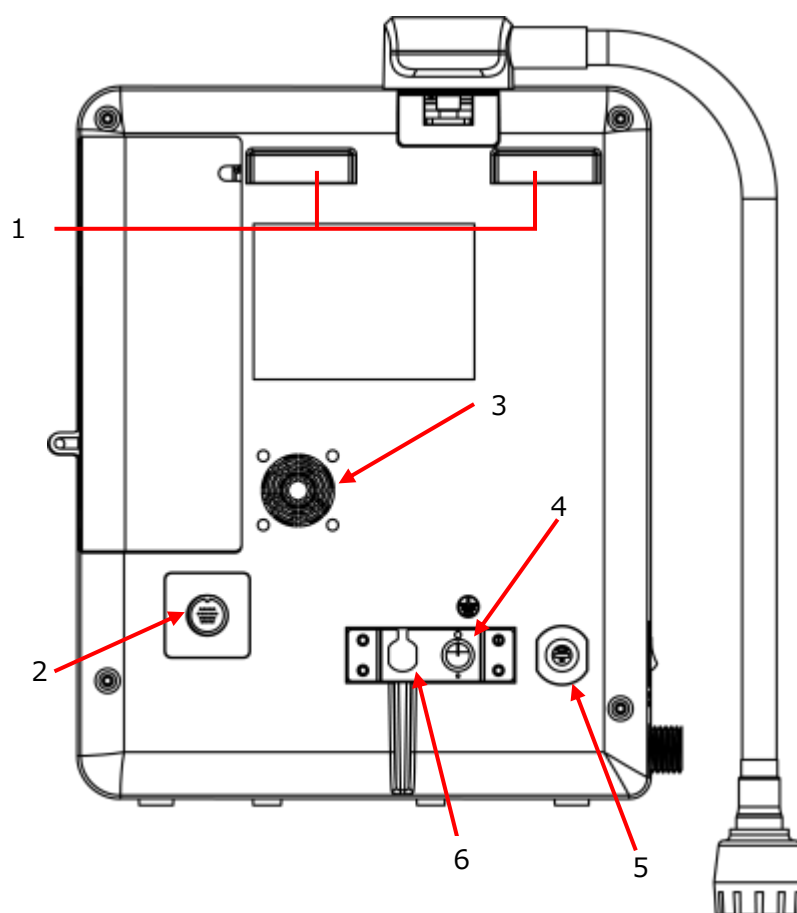
No.	名 称	説 明
1	電解補助液扉	電解補助液を収納するスペースの扉です。
2	電解補助液扉開閉ボタン	電解補助液扉の開閉時に押します。
3	壁掛け金具	本体を壁に固定する金具です。
4	電解補助液窓	電解補助液の残量が確認できる窓です。
5	電解補助液供給用穴	電解補助液の延長チューブを通します。

2.2.3 製品左側面



No.	名 称	説 明
1	電源スイッチ	電源の「ON」「OFF」を行います。 電源プラグの抜き差し時には必ず「OFF」にしてください。
2	給水口	付属の給水ホースを接続します。

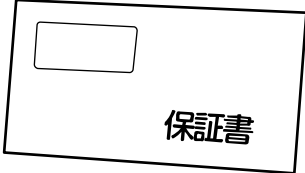
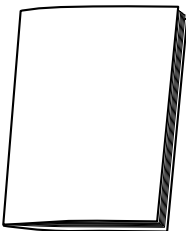
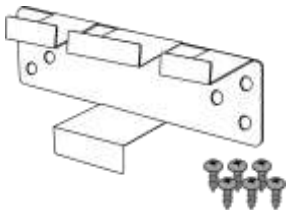
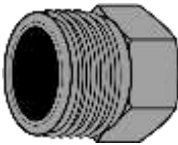
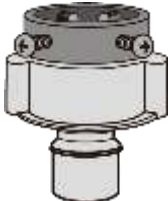
2.2.4 製品背面

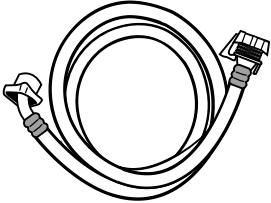
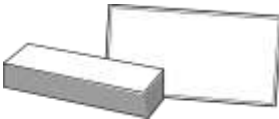


No.	名 称	説 明
1	壁掛け金具差し込み穴	壁掛け金具を固定する差し込み穴です。
2	プログラムアップグレード用コネクタ	制御プログラムを書き換える際に使用するコネクタです。
3	ファン	装置内部換気用のファンです。
4	電圧調節ダイヤル	電解水の調整をします。 ※ダイヤルの調節にあたっては、販売店にご相談ください。
5	ヒューズ	装置保護用(250V 3.15Aです。)
6	電源コード	電源コンセントに接続します。

2.3 付属品

※本製品の梱包内に入っている付属品です。

確認	コード	品名	数量	画像	仕様	使用用途
☐		保証書	1冊			設置日、設置先を記入し保管してください。
☐		連絡先ステッカー	1枚			販売店の連絡先を記入し製品に貼り付けてください。
☐		簡単取扱説明書	1枚			設置使用の前に必ずお読みください。
☐		壁掛け金具セット (金具・固定用ネジ6個)	1 セット		SUS304製	本製品の壁掛け固定に使用します。
☐		壁かけパット	2個			本体裏面下部に貼り付け本体の固定に使用します。
☐		ユニオンアダプター (パッキン付き)	1本			本体に給水ホースを接続する際に使用します。
☐		メッシュ	2個			給水時のゴミ等を取り除きます。(一個は予備用)
☐		給水ホース接続用 ワンタッチアダプター	1個			水道蛇口に給水ホースを接続する為のアダプターです。

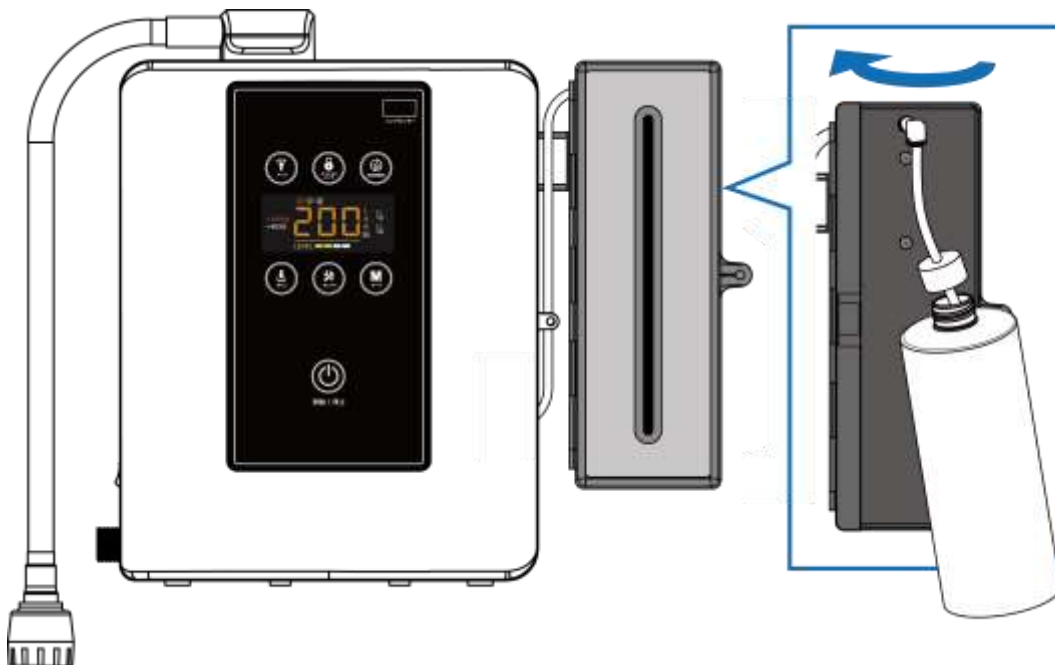
確認	コード	品名	数量	画像	仕様	使用用途
☐		給水ホース 1m	1本		(株) カクダイ LS4365-2 G3/4×1m	本体への給水に使用します。
☐		取水ノズルセット	1本		長さ：465mm	
☐		電解補助液	1本		電解補助液	電解水を生成するための電解補助液です。
☐		クロール試験紙 (変色表付き)	1箱			酸性電解水の塩素濃度の確認に使用します。

メモ	付属品・オプション品などの商品が変更になる場合がございます。
----	--------------------------------

2.4 オプション品

設置環境に応じて、オプション品をご使用ください。

電解補助液BOX



外形寸法：90（W）×270（H）×105（D）mm

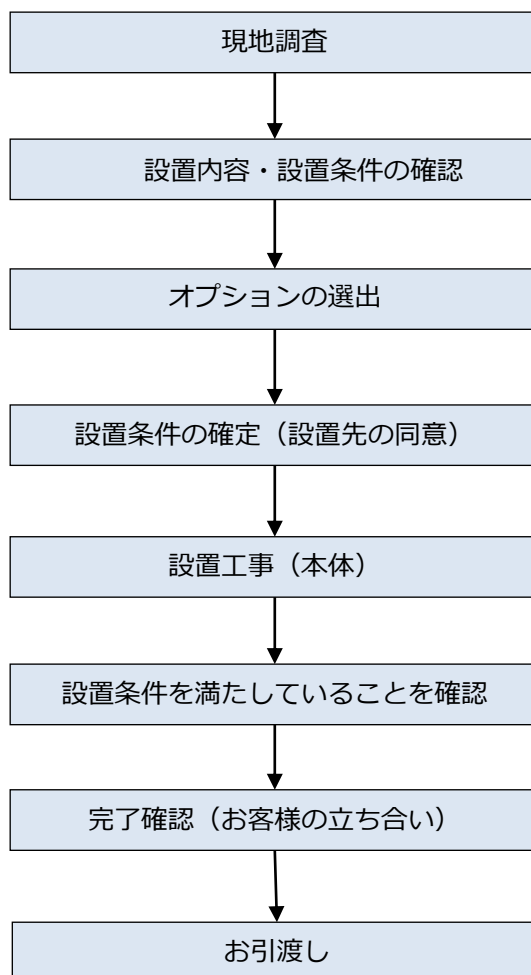
電解補助液BOX（オプション品）を使用することで電解補助液1Lをそのまま使用することが可能なので、電解補助液の交換頻度を下げることが出来ます。

3 設置

3.1 設置の前に

本製品が安全に性能を十分発揮できるような設置環境を、オプションの要不要とともに、販売店の設置担当者でご確認ください。

3.1.1 設置の流れ



3.1.2 設置場所の環境・注意事項

P.1 『1.1 仕様及び保全のための必要空間』を参考に取り回しに余裕があるように設置します。

メモ

電解補助液の補充作業等が容易となるように、留意願います。

3.2 設置の前の確認

給水栓の確認

設置作業を行う前に以下の項目をご確認ください。

水栓への取り付け、違う方法での取り付けをご希望の場合等は、お買い上げの販売店でご相談ください。

取り付け出来ない水栓	吐水口の直径24mm以上 吐水口の先端部のストレー ト長さが8mm以下 センサー付き シャワー付き	
直接、給水ホースが接続できる水栓	洗濯機用ホーム水栓	
部品の交換により、直接給水ホース が接続できる水栓	洗濯機用ホーム水栓 自在水栓+洗濯機用ニップル	
同梱の給水ホース接続用 ワンタッチアダプターにて接続可能 な水栓	横水栓 立形自在水栓 ツーパーブル混合形	

3.3 設置方法



注 記



・背面のコネクターについているカバーは端子を使用している時以外は、必ず付けたままにしてください。端子が腐食すると接続不良の原因になる場合がございます。



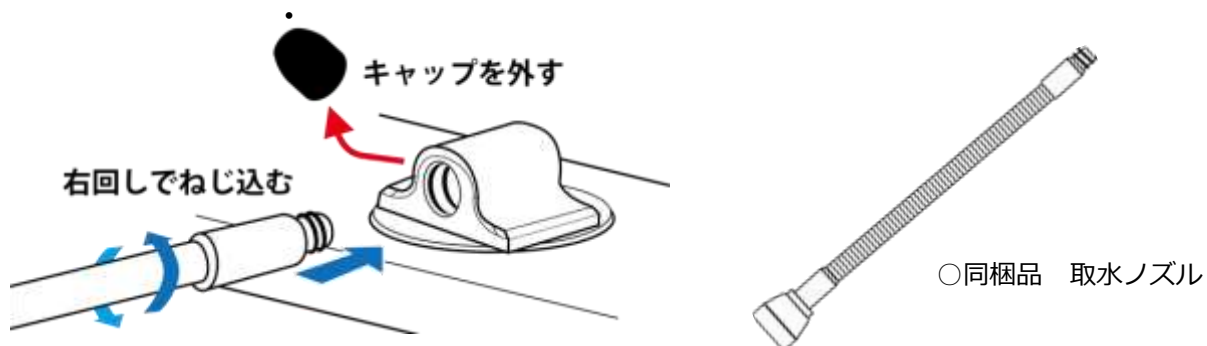
・本体へのゴミや異物混入を防ぐ為、給水ホースを接続する前に水道管のフラッシングを行ってください。(フラッシングとは、配管加工、水の停止などで発生する管内の汚れの洗い流しのことです)

・フラッシングの際は、水をボール等で受けて汚れが無くなるまで行ってください。特に、水道管を分岐して給水する場合は、ゴミや異物が混入しやすいので、十分にフラッシングを行ってください。

・水栓に給水ホースを取り付けする際は、本体が単独で止水出来る位置に水栓があることを必ず確認してください。

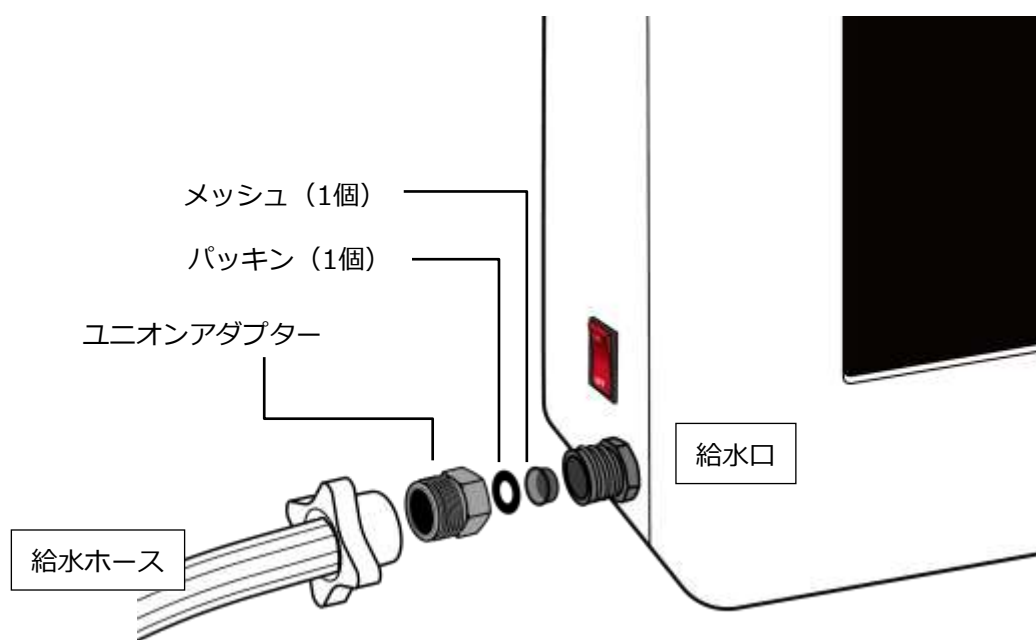
3.4 取水ノズルの取り付け

- 本体の取水ノズルセット接続口のキャップを外し、同梱品の取水ノズルセットを本体の接続口に入れて、右に回して取付けてください。キャップは保管の際などに使用しますので大切に保管してください。



3.5 給水ホースの連結

給水は給水ホース、ユニオンアダプターを連結して、図のように本体の給水口に連結します。
連結する時に本体の給水口の入口にゴミ等をろ過するメッシュを設置してください。



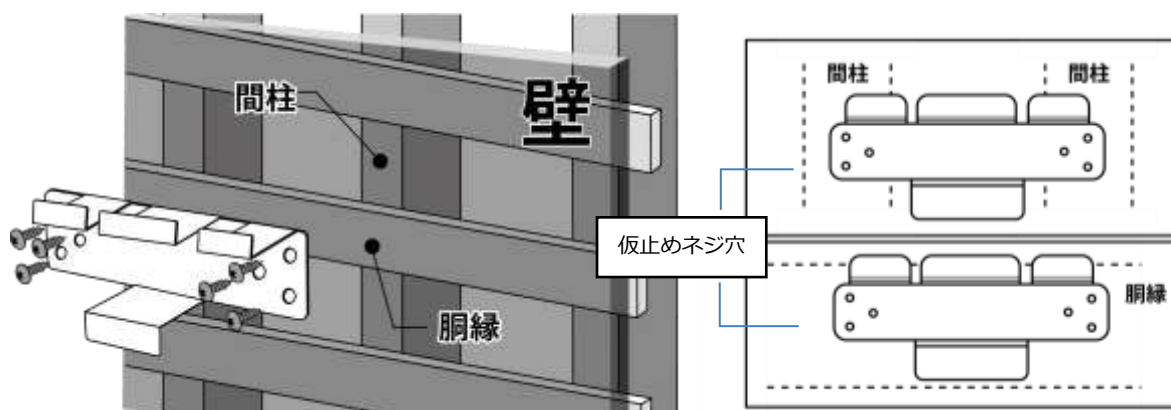
※メッシュにごみなどが詰まると水の流れが悪くなりますので定期的に掃除してください。

メモ	本器と水栓の間を、同梱品の給水ホース（長さ1m）で接続してください。 給水ホースの長さが不足する場合は、別途、ご用意ください。 取水ノズルや給水ホースは確実に接続してください。水漏れの原因になります。
-----------	--

3.6 壁面に取り付け

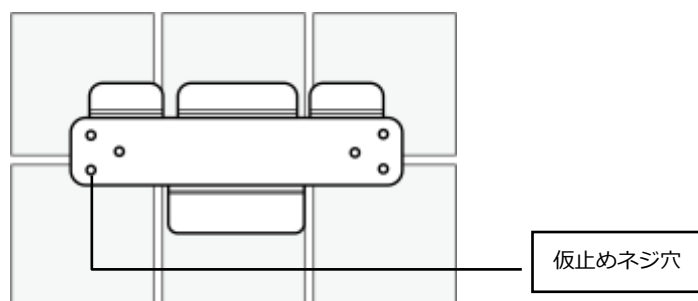
壁板に取り付ける場合

壁面内の（横）胴縁、又は、間柱に固定します。取り付け位置を決めて、壁掛け金具の左下の穴1ヶ所ネジを止めて、壁掛け金具を仮止めしてから、他の5ヶ所をネジで固定します。

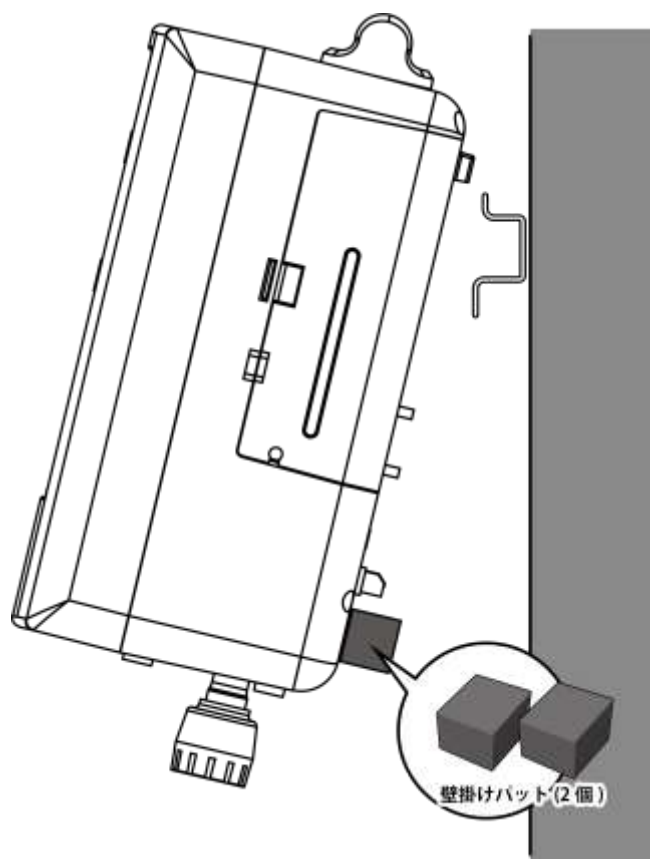


タイル・コンクリートの壁面に取り付ける場合

壁掛け金具を取り付ける位置を決め、カールプラグを取り付ける為の下穴を、コンクリート用ドリルで穴を6ヶ所あけ、カールプラグを挿入します。皿タッピングビスM5X25を使用して壁掛け金具を固定します。



本体背面の壁掛け金具差し込み穴に、壁掛け金具の凸部を差し込みます。軽く左右に動かし、壁掛け金具の凸部が確実に本体の壁掛け金具差し込み穴にはまっていることを確認してください。



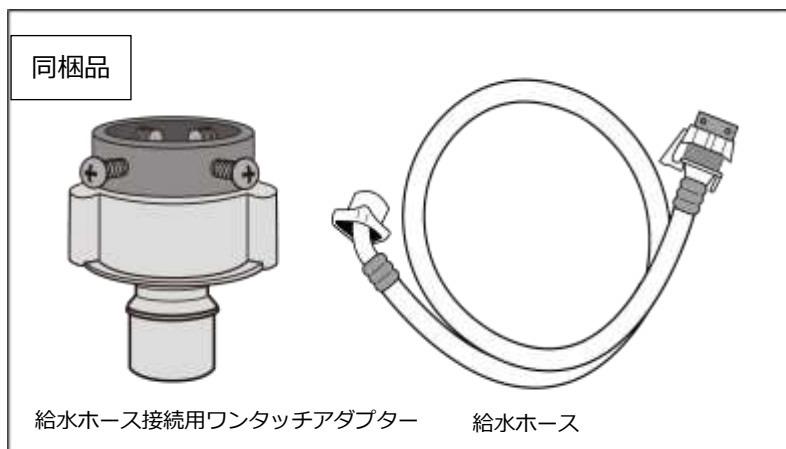
同梱品の壁掛けパット(2個)を本体
背面の下部に貼り付けてください。

3.7 水栓に接続する

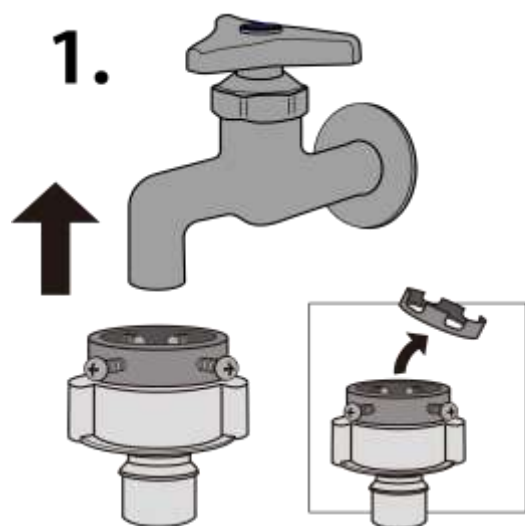
横水栓に接続する

同梱部品の接続金具と給水ホースを使用して接続します。

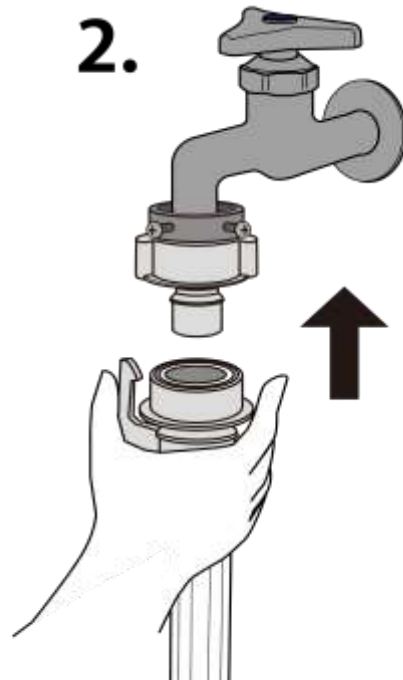
接続に適した水栓（横水栓）



1. 水が出ないように水栓ハンドルを閉じる。
2. 接続金具のネジ（4本）を水栓の口の径まで緩める。
3. 水栓にまっすぐ押し当て、ネジ（4本）を均等に締める。
※壁などで後部が狭い場合は、前もって奥側のネジを調整しておいてください。ネジが均等に締められていないと、水漏れの原因になります。
4. 締め付けニップルを反時計方向に回してしっかりと締め付ける。
5. 給水ホースを水栓に接続します。給水ホースのカバーとレバーを押し下げたまま接続金具に差し込み「パチン」と音がするまで押し上げます。
※下向きに引き、抜けないことを確認してください。



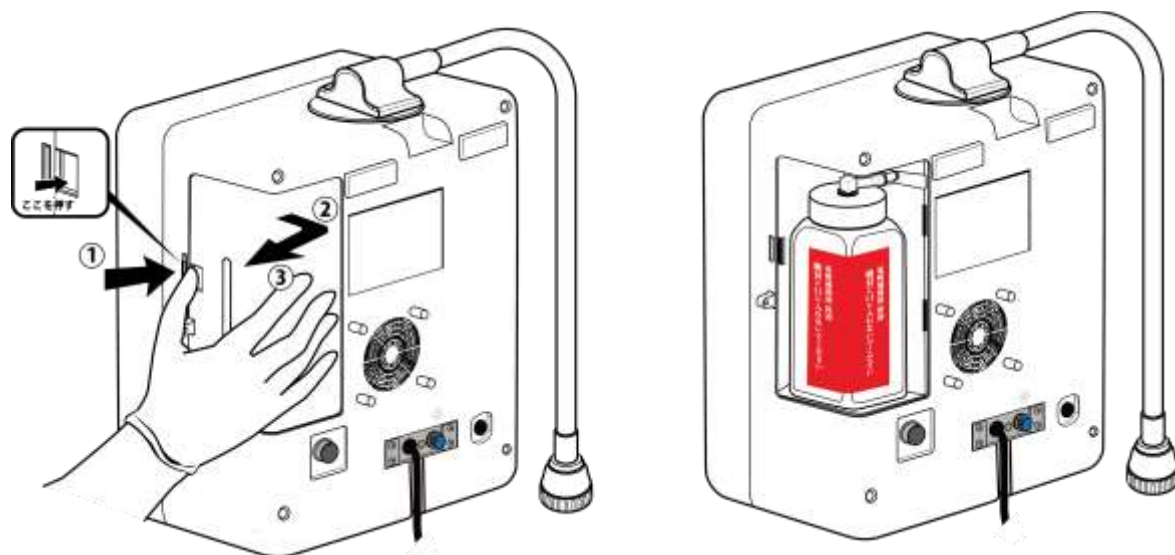
水栓の口径が18mm以上
の場合ネジ（4本）を緩めて
あらかじめリングを外す。



3.8 電解補助液を入れる

・電解補助液（添加液）扉の取り外し・取り付け

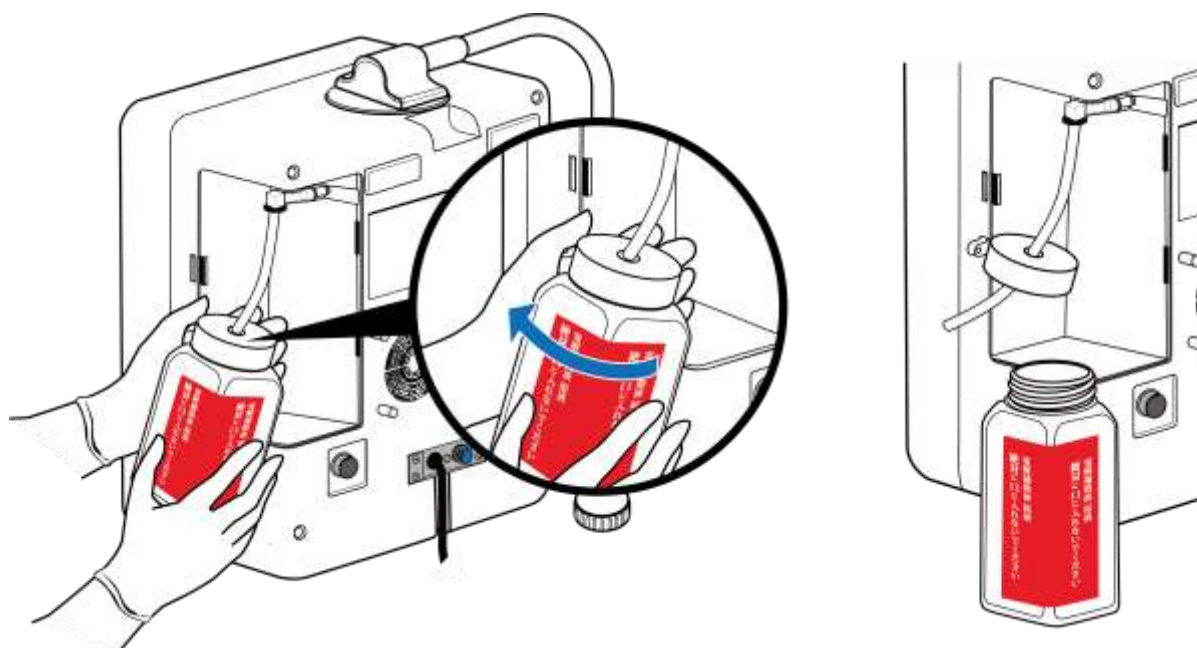
電解補助液（添加液）扉を取り外す時は、接続部を①の方向に押しながら②の方向に開けて③の方向に引いて取り外します。扉を取り付ける際は逆の手順を行ってください。



・電解補助液（添加液）ボトルの取り外し

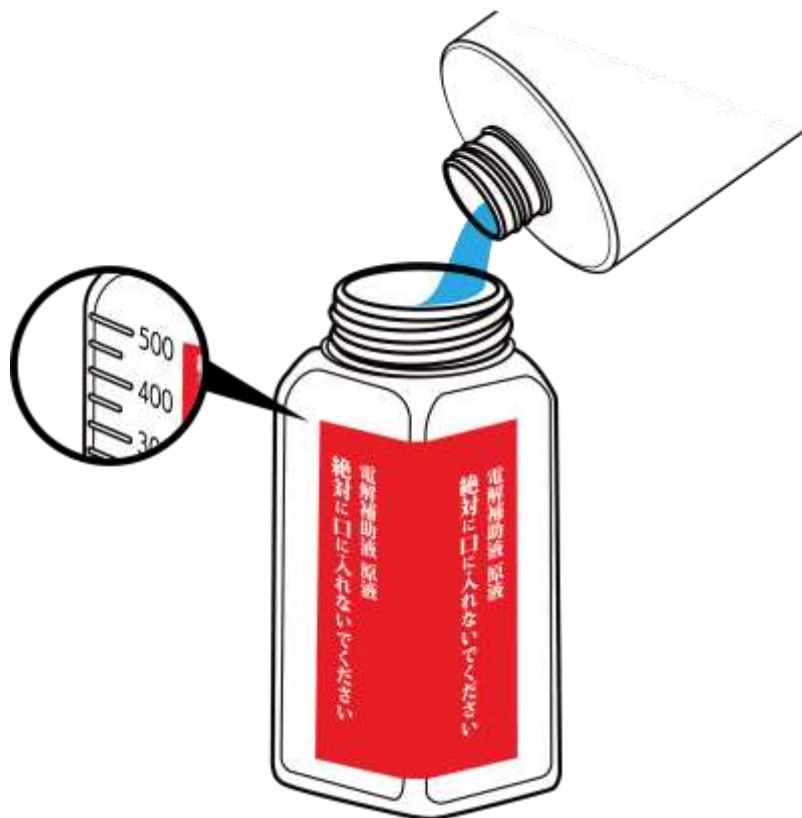
内側の電解補助液（添加液）ボトルをゆっくりと引き出してください。

図のようにボトルのキャップを握って固定した状態でボトルを左に回すとボトルが外れます。



・ 電解補助液（添加液）の補充

電解補助液（添加液）ボトルに電解補助液（添加液）をゆっくり入れてください。側面の目盛りを確認しながら500mL以上にならないように注意してください。電解補助液を戻す際は逆の手順を行ってください。



注 記



- ・ 電解補助液（添加液）には強い刺激があります。補充の際は必ずゴム手袋を着用し、絶対に飲用しないで下さい。皮膚や目に付いた場合はすぐに大量の水で洗い流してください。

電解補助液（添加液）補充ボタンを長押し（約3秒）すると、電解補助液（添加液）の吸引を行い、生成可能な状態になるまで1分程度かかります。

注 記



- ・ 電解補助液（添加液）を、こぼしたり、付着させたりした場合は、乾いた布などで拭き取ってください。放置すると腐食の原因になります。

4 使用方法（電解水生成の準備）

4.1 電解水生成の準備

給水の準備

水栓ハンドルを開けて給水状態にします。

※切替コックを使用している場合は、本器側に給水する様にしてください。

※給水ホースの接続部及び本体からの水漏れのないことを確認してください。

電源投入

電源コードのプラグをコンセントに確実に差し込み、本体の左側面にある電源スイッチを「ON」にします。

電解補助液（添加液）の補給

初めてご使用の場合、添加液切れランプが点滅しています。前3.9項に従い、補充願います。電解補助液（添加液）ボタンを長押し（約3秒）すると、電解補助液（添加液）の吸引を行い、生成可能な状態まで自動で動作します。

吸引動作中は、シャワーホースより吐水します。

必ず給水状態とし、シンクなど排水可能な場所で行ってください。

ご使用中に電解補助液（添加液）切れとなった場合も同様に操作してください。



注 記

操作の前に、電解補助液（添加液）ボトルに電解補助液を補給してください。

補充後、添加液切れから復旧しない場合は、電解補助液(添加液)から本体をつなぐチューブコネクターを確実に締めてください。

またチューブ側のコネクターを水で洗い、本体側のコネクターは水で濡らしたタオルなどで拭いてください。塩の結晶が付着しコネクターが締めきれていない場合があります。

生成水量の確認

- 生成水量は、推奨生成水量2.6L/分～3.5L/分（最適生成水量2.8L/分～3.0L/分）に調整してください。
※安定した電解水を生成するため、できるだけ最適生成水量に調整することをお勧めいたします。
- 生成水量が少ない場合：給水口のメッシュにゴミが無い場合、水圧が0.2MPa程度あっても配管口径、配管長によっては生成量が1.5L/分以下となりE3エラーが発生する場合があります。ポンプ増設などの必要性も考えられるので販売店にご相談ください。
- 生成水量が多い場合：生成水量が3.6L/分以上になっている場合は水栓ハンドルを締め、2.6～3.5L/分程度にしてください。
生成水量が3.8L/分を超える場合は、E5エラーが発生します。

4.2 設定方法

4.2.1 生成量の設定（1～200 L、初期設定1L）

生成量の変更は、停止中に行ってください。

- 生成量が表示されている状態で“↑”、“↓”ボタンを押して、設定したい生成量に調整します。5秒間変更の操作がないと、点灯になって生成量が保存されます。



4.2.2 生成濃度レベルの設定（Lv1～Lv4、初期設定L1）

生成濃度レベルの変更は、停止中に行ってください。

- ① セレクトボタンを3秒間押します。
ブザー音が鳴り、設定変更モードになります。
- ② 生成濃度レベル設定が表示されます。
- ③ “↑”、“↓”ボタンを押して、設定したいレベルに調整します。5秒間変更の操作がないと、点灯となって濃度レベルが保存されません。※この時点では取水できません。
- ④ 設定レベルに調整後チャイルドロックと添加液補充を同時押しする事で生成濃度レベルの変更が完了します



4.2.3 ハンドセンサーの生成時間の設定（生成時間20秒～120秒、初期設定30秒）

生成時間の変更は、停止中に行ってください。

- ① セレクトボタンを3秒間押します。ブザー音が鳴り、設定変更モードになります
- ② モードボタンで、濃度レベル設定から生成時間設定に切替えます。
※レベルゲージが点滅から点灯に切り替わったら③に進んでください。
- ③ “↑”、“↓”ボタンを押して、設定したい時間に調整します。5秒間変更の操作がないと、点灯となって生成時間が保存されません。※この時点では取水できません。
- ④ 生成時間変更後、チャイルドロックと添加液補充の同時押しする事で生成時間の変更が完了します。



4.2.4 チャイルドロックの設定

待機状態で『チャイルドロック』ボタンを3秒間押すと、チャイルドロックランプが点灯して、ハンドセンサーでのみ生成可能になります。

他方、『チャイルドロック』ボタンと『添加液補充』ボタンを同時押しすることで、解除されます。

※チャイルドロック「ON」の状態では、開始/停止ボタンでの生成やハンドセンサーの生成時間設定と生成濃度レベルの変更はできません。



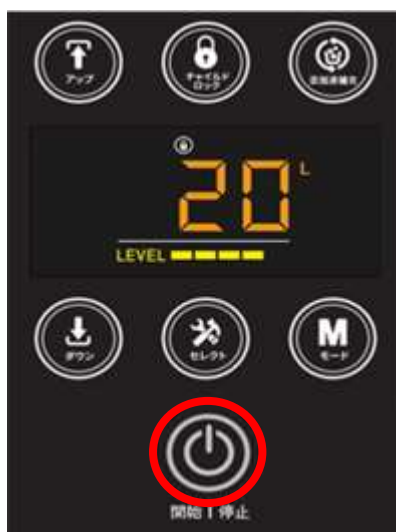
4.3 生成の方法

4.3.1 開始/停止ボタンによる生成

開始/停止ボタンを押すと、設定された生成量(L)によって生成が始まります。生成中は、ランプが点滅し生成中であることをお知らせします。

また表示部には生成残量を表示し、生成に合わせて1 L単位で減少します。

設定されている生成量に達すると、生成を停止して表示部には設定されている生成量(L)が表示されます。



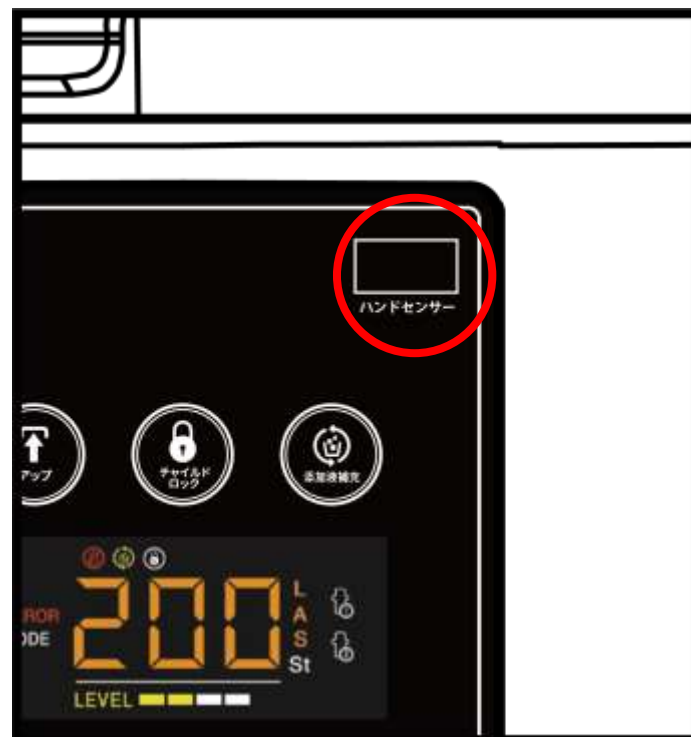
4.3.2 ハンドセンサーによる生成

手をハンドセンサーに約 3 cm まで近づけます。感知後生成が開始されます。

※手が動いていると検出されません。静止してください。

※開始/停止ボタンでの生成中の場合は、生成が停止します。

ハンドセンサーが検出して生成を開始すると、生成ランプが点滅し、表示部には生成時間が表示されます。1 秒単位で減少しながら残りの生成時間をお知らせします。



5 メンテナンス

5.1 日常のメンテナンス

お客様および管理責任者の方に行っていただく本製品のメンテナンスは、以下となります。

注 記



- ・ 本器の周りに水漏れがないか確認し、水漏れのある場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。
- ・ ポンプと電解槽の交換ランプが点滅している場合は、部品の交換時期です。お買い求めの販売店にご連絡ください。

5.1.1 有効塩素濃度の確認

酸性電解水の有効塩素濃度は、電解水使用の都度、確認してください。

注 記



所定の塩素濃度から大きな変化があった場合は、販売店にご連絡ください。

有効塩素濃度の確認方法

酸性電解水の有効塩素濃度チェックには、付属品のクロール試験紙をご使用ください。

注 記



水質、水温、その他の条件により変化します。

- ① 電解水生成を行い、1分程度経過後、1～2L溜め水し、その水に試験紙を浸してください。
- ② 電解水に浸した試験紙とケースの変色表とを比較して、有効塩素濃度を判定します。



- ① 試験紙を電解水に2秒間浸し、直に取り出してください。余分な電解水は振り払ってください。



- ② 試験紙を上向きにして15～60秒後に比色表と比較して判定してください。

5.1.3 pHの確認

電解水のpHの確認は、定期メンテナンスの際に販売店にご依頼ください。

注 記



所定のpHから大きな変化があった場合は、販売店にご相談ください。

5.1.4 日常の清掃および管理

清掃

電源を切ってから、柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから拭いてください。

注 記



みがき粉、シンナー、ベンジン、ガソリンや灯油などの溶剤は使用しないでください。
傷、変形、変色の原因となります。

本製品周辺の管理

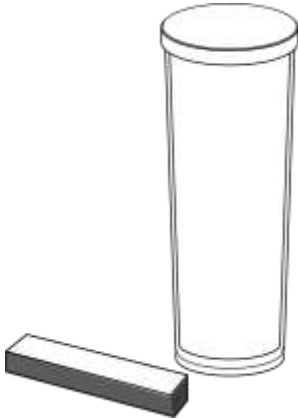
注 記



- ・ 本製品周辺に物を置いて換気口を塞がないようにしてください。
- ・ 本製品の上に物を置いたりしないようにしてください。

5.2 消耗品

お買い求めの販売店にご注文ください。

品名	製品画像
クーロル試験紙 (変色表付き) 300枚入り	

	製品画像
電解補助液 1Lタイプ(1L×4本セット)	
電解補助液 10Lタイプ	

5.3 定期メンテナンス(原則：2年に1回)

常に安定した性能を維持し、お客様に安心して使用いただくために必要となります。

メモ	定期メンテナンスは、販売店の担当者、あるいは、弊社作業担当者が設置現場にて行います。
----	--

定期メンテナンスには、以下のような項目があります。

- ・電解水pH点検
- ・電解水塩素濃度点検
- ・電解槽電流値点検
- ・生成流量点検
- ・清掃(給水ホース接続部のメッシュ他)
- ・定期交換部品の交換

5.4 定期交換部品

製品を使用することで消耗していくもの、また交換が必要なものがあります。

メモ	・消耗交換品の価格については、ご購入の販売店へお問い合わせください。 ・部品の交換作業は、販売店の担当者、あるいは、弊社作業担当者が行います。
----	---

(1) 電解槽(初回付属品)

2年に1回の交換をお願いします。

(2) チューブポンプ(2個)

2年に1回の交換をお願いします。

(3) 内蔵ファン(2個)

2年に1回の交換をお願いします。

(4) シャワーヘッド(1個)

1年に1回の交換をお願いします。

※上記交換目安は、設置環境・原水水質の他、酸性電解水の水質・生成水量・使用頻度等により、変動します。

注 記

定期交換部品以外にも、上記の諸条件により配管チューブ等の他の部品交換が必要となる場合があります。

6 トラブルシューティング

6.1 こんなときは

以下に予想されるトラブルと対処方法を記載します。

注 記



- ・機器に不具合がある場合、直ちに本製品左側面の主電源を“OFF”にしてください。その後、本製品への給水栓を閉めて、本書の裏表紙に記載の販売店までご連絡ください。
- ・その他、ご不明な点などございましたら、裏表紙に記載の販売店、もしくは弊社までご連絡ください。

症状	原因	対応
電源が入らない	電源プラグが抜けている	電源プラグがコンセントに確実に差し込めるか確認してください。
	漏電している可能性がある。	原因を取り除き、電源を入れなおしてください。それでも電源が入らないのであれば、販売店へご連絡ください。
電解水が取水できない	給水栓が閉まっている	給水栓を開け、「チャイルドロック」ボタンと「添加液補充」ボタンを同時に3秒間押してエラーを解除し再度ご利用ください。
	メッシュにゴミなどが詰まっている	本体の給水口に接続したユニオンアダプターで挟み込むメッシュを清掃する、もしくは予備の物へ交換してください。ゴミなどが詰まっていると水の流れが悪くなる場合があります。それでも解消されない場合は、販売店へご連絡ください。
酸性電解水で除菌・消臭効果が落ちた	電解槽が劣化している	電解槽の使用目安を超えて使用しているおそれがあります。使用目安を超えると、濃度を維持できなくなるので、交換をお勧めします。販売店へご連絡ください。
取水ノズルから水が垂れる ・①設置直後から、取水停止後に取水ノズルよりポタポタと水が垂れる。 ・②長期末使用後にポタポタと水が垂れる。	本体内部電磁弁内に異物詰まり	5.1.1 取水ノズルからの水垂れ対処方法を実施願います。

6.1.1 取水ノズルからの水垂れ対処方法

症状	原因	
①設置直後から、取水停止後に取水ノズルよりポタポタと水が垂れる。	フラッシング不足	既設の水道配管を加工して給水管を用意する場合、水道管の内側に発生している鉄サビが剥がれる可能性があります。サビなどの細かいゴミが給水口メッシュフィルターを通り抜けて装置内に入ると、給水のON/OFF動作を行う電磁弁に付着し完全に遮断できない場合があります。
②長期未使用後にポタポタと水が垂れる。	赤水の流入	断水や長期未使用で水道水の流れを止めていると、通水再開時に赤水が見受けられる場合があります。赤水は水道管内の鉄サビ等で、装置内に入ると、給水のON/OFF動作を行う電磁弁に付着し完全に遮断できない場合があります。

予防方法

水道配管の加工を行った場合は、通水前に洗いをボールや桶等で受けて、鉄サビ等の汚れが確認できなくなるまで、十分にフラッシングしてください。

赤水が出る可能性がある場合は、通水前に装置への給水配管を一旦外して、フラッシングを行ってください。

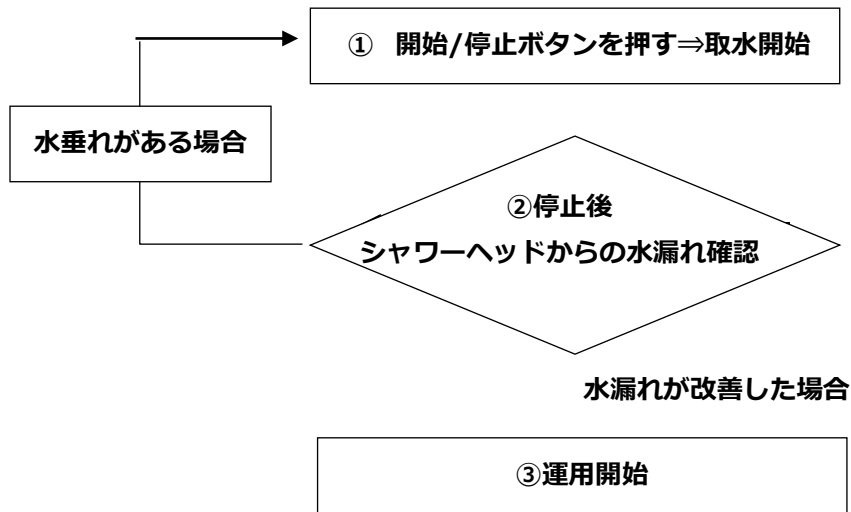
対処方法

本製品内の電磁弁等に絡んだゴミや異物を通水にて押流しをおこないます。

- ・『①所定量の通水』
- ・『②通水の短時間繰り返し』
- ・※『①所定量の通水』で解消できない場合に『②通水の短時間繰り返し』を行ってください。

① 所定量の通水手順

準備：生成量を10Lにしてください。(4.2.1生成量の設定 P27参照)



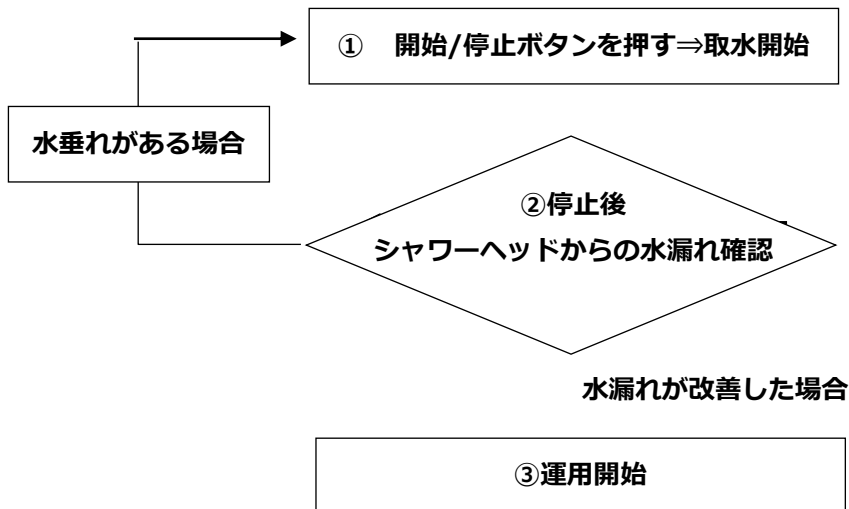
注 記



- ・ 水垂れが解消しない場合は、工程を2～3回繰り返してください。
それでも水垂れが解消しない場合は、『5.1.3通水の短時間繰り返し』を行ってください。

② 通水の短時間繰り返し手順

準備：生成量を1Lにしてください。(4.2.1生成量の設定 P27参照)



注 記



- ・ 水垂れが解消しない場合は、工程を5回程度繰り返してください。
上記を行っても水垂れが止められない場合は、販売店にご連絡ください。

6.2 エラー表示一覧

表示されるエラー対処方法を下記に記します。

異常名称	内容・原因・確認事項・対処方法	
E1表示	内容	《生成停止不具合》 待機状態、生成の停止時に流量センサーが3秒以上、水の流れを感知するとE1を表示します。
	原因 確認事項	装置内部の電磁弁故障(閉じない)
	対処方法	水が漏れていますので給水栓を閉め、販売店にご連絡ください。
E2表示	内容	《電解槽の過電流異常》 電解槽内の電解質濃度が上昇し、規定値以上の電流が通電された場合にE2を表示し機能を停止します。
	原因 確認事項	・添加液ポンプの故障 ・5秒程度の短時間運転の繰り返し ・水温及び電解電圧が高い
	対処方法	・エラーが発生したら一旦電源OFFします。 上記原因を取り除いた後、電源をONし初期画面のb□□が表示（ブザー音前）されたら"⇩"ボタンを3秒間押し続けると、E2の解除画面に切り替わります。"⇧"ボタンを3秒間押し続けると40秒間のフラッシング動作（給水口から水が出ますが電解水ではありません）に入り、フラッシングが完了すると生成待機状態になります。 ・上記を行い改善しない場合は、販売店へご相談ください。
E3表示	内容	《給水量不足》 ・生成中生成量が2.0L/分以下になるとレベルバー 4 個がすべて点滅し、生成量が1.5L/分以下になるとE3表示し機能を停止します。 ・電解補助液（添加液）補充中も生成中と同様となります。
	原因 確認事項	・給水栓が閉じている。 ・給水口のメッシュにゴミが詰まっている。 ・給水される水圧が給水量に対して低い。
	対処方法	上記原因を取り除いた後、『チャイルドロック』ボタンと『添加液補充』ボタンを同時に3秒間押すと停止状態が解除されます。

E4表示	内容	《給水停止》
------	----	--------

異常名称	内容・原因・確認事項・対処方法	
		生成中に流量センサーが5秒以上水の流れを感知できないとE4表示し機能を停止します。
	原因 確認事項	・装置内部の電磁弁故障 ・給水栓が閉じている。
	対処方法	上記想定原因を取り除いた後、『チャイルドロック』ボタンと『添加液補充』ボタンを同時に3秒間押す。
E 5表示	内容	《生成過流量》 ・生成中生成量が3.6 L/分以上になるとレベルバー 4 個がすべて点滅し、生成量が3.8 L/分以上になるとE5表示し機能を停止します。 ・電解補助液（添加液）補充中も生成中と同様となります。
	原因 確認事項	給水栓が開きすぎている
	対処方法	『チャイルドロック』ボタンと『添加液補充』ボタンを同時に3秒間押して解除し、生成量を表示（P.10 使用内容の表示を参照）させてバルブで調整し2.6～3.5L/分に調整する。（P.27 生成水量の確認を参照）
E 6表示	内容	《電解補助液（添加液）不足》 規定の電流値を低下すると電解補助液が不足していると判断し、E6を表示して機能を停止します。
	原因 確認事項	・電解補助液ボトルが空いている。
	対処方法	電解補助液ボトルを補充した後、『添加液補充』ボタンを3秒間長押しすると補充動作が開始され、完了後（補充動作は最大 3 分程度かかります。）は生成状態になります。
E 7表示	内容	《水ポンプエラー》 希釈水供給用のチューブポンプの異常を検出すると、E7を表示して機能を停止します。
	原因 確認事項	水ポンプの故障。
	対処方法	希釈水供給チューブポンプの交換が必要になります、販売店に依頼願います。

E 8表示	内容	《定期交換部品の交換時期お知らせ》
-------	----	-------------------

異常名称	内容・原因・確認事項・対処方法	
		所定時間を超えると、E8を表示して機能を停止します。
	原因 確認事項	定期交換部品（電解槽・チューブポンプ・内蔵ファン）の稼働時間が所定値を超えた。
	対処方法	交換を販売店に依頼願います。 『チャイルドロック』ボタンと『添加液補充』ボタンを同時に3秒間長押しで解除し、交換予定日まで使用できます。（超過5時間毎にお知らせで、E8が繰り返し表示されます）
E9表示	内容	《定期メンテナンス時期お知らせ》 所定日数を超えると、E9を表示して機能を停止します。
	原因 確認事項	装置の稼働日数が2年を経過した。
	対処方法	交換を販売店に依頼願います。 『チャイルドロック』ボタンと『添加液補充』ボタンを同時に3秒間長押しで解除し、メンテナンス予定日まで使用できます。（超過5日毎にお知らせで、E9が繰り返し表示されます）

注 記

・販売店に修理を依頼する際の輸送時の注意事項

- ①本体内部の補助液ボトルは、空にして梱包して下さい。
- ②本体縦置き状態で梱包し、天地無用の注意喚起をお願いします。

【理由】輸送時の本体内部からの水漏れ防止のため

7 製品の保管および廃棄

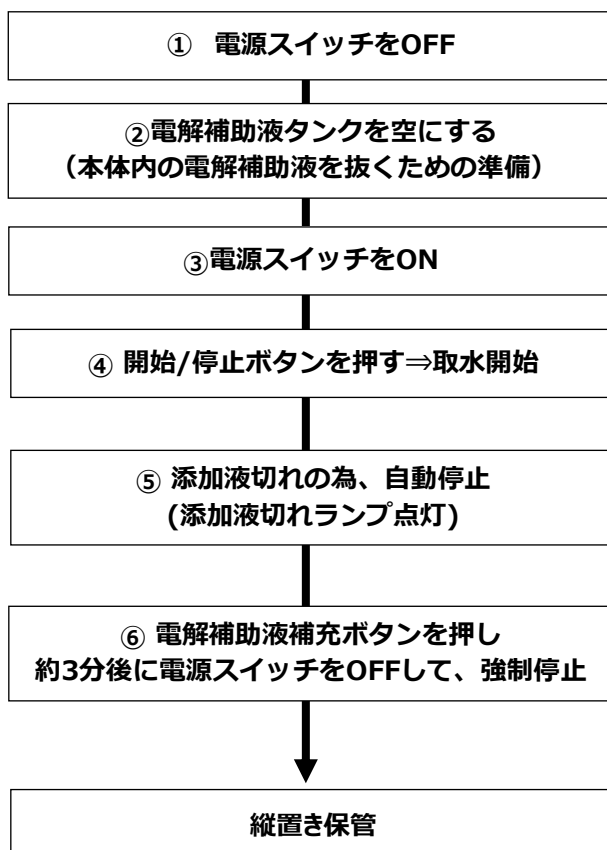
7.1 本製品の使用を長期間停止する場合

本製品を1週間以上使用しない場合の停止手順、その後の使用停止から復帰する手順を以下に示します。

使用停止時

- 1 電解補助液(添加液)ボトル内部の電解補助液を捨て、ボトル内部に水道水をいれます。
- 2 本製品のフラッシングを実施します。
開始/停止ボタンを押し、電解補助液(添加液)切れエラーが発生するまで生成。
- 3 ボトル内部の水を捨て、補助液切れボタンを長押し(3秒)し、生成が止まったら電源スイッチをOFFしてください。
- 4 本体を取りはずす場合は、取水ノズル、給水ホースを取り外し、軽く本体を振って内部の水を排出した後、付属のキャップをしてください。また梱包、保管する場合は必ず縦置きしてください。
- 5 本製品に給水している蛇口を閉めます。
本体を取りはずす場合は、取水ノズル、給水ホースを取り外し、軽く本体を振って内部の水を排出した後、付属のキャップをしてください。また梱包、保管する場合は必ず縦置きしてください。

フラッシング手順



使用再開時

- 1 本製品への給水ホースを外し、フラッシングを実施します。
- 2 本製品に給水している蛇口を閉じ、給水ホースを接続します。
- 3 本製品に給水している蛇口を開けます。
- 4 電解補助液(添加液)ボトルに電解補助液を補充
- 5 本製品の電源をONにします。
- 6 補助液切れボタンを長押し(3秒)し添加液を補充。
- 7 電解水を3分ほど生成します。

注 記



- ・ 本体へのゴミや異物混入を防ぐ為、給水ホースを接続する前に水道管のフラッシングを行ってください。(フラッシングとは、配管加工、水の停止などで発生する管内の汚れの洗い流しのことです)
- ・ 特に、水道管を分岐して給水する場合は、ゴミや異物が混入しやすいので、十分にフラッシングを行ってください。
※フラッシングの際は、水を桶、ボール等で受けて、汚れが無くなるまで行ってください。

注 記



- ・ 使用再開直後の電解水は、使用せず、そのまま捨ててください。
- ・ 使用再開後の電解水は付属の試薬で所定の塩素濃度を、確認してから使用してください。

7.2 本製品を廃棄する場合

7.2.1 本体の廃棄

本体を廃棄する場合は、設置場所のある地方自治体に処理方法をご確認ください。

主要材質：ボディ(ABS樹脂)、内部ホース(PP樹脂)、

内部部品に一部ステンレスなどの金属を使用しています。

7.2.2 梱包材等の廃棄

梱包材などを廃棄する場合は、設置場所のある地方自治体に処理方法をご確認ください。

主要材質：段ボール、発砲スチロール、ポリ塩化ビニル等

改訂履歴

[illegible]

本装置に関するご質問やご相談、不具合や緊急の場合のご連絡は、以下にお願いいたします。

販売店

アシストメイク株式会社

東京都板橋区前野町1-45-22 811号

TEL: 03-6750-9654

Mail: info@assist-make.co.jp

<https://assist-make.co.jp/>

●製品の色は印刷物ですので実際の色と若干異なる場合があります。 ●製品の定格およびデザインは改善等のため予告なく変更する場合があります。 ●製品には、ご使用上の注意を表示したステッカーを貼付しています。



<https://seemsj.jp>

輸入・販売：株式会社 S E E M S

〒104-0032 東京都品川区大崎 3-5-2 エステージ大崎ビル 6階 612

開発・製造：SEEMS [BIONICS.Inc](https://seemsj.jp)

240821